令和４年度　第二回　足立区経済活性化会議

会議録

令和４年９月６日（火）

Cisco Webex Meetingsによるオンライン会議

（開催概要）

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 令和４年度 第二回 足立区経済活性化会議 |
| 開催年月日 | 令和４年９月６日（火） |
| 開催場所 | Cisco Webex Meetingsによるオンライン会議 |
| 開催時間 | 午前１０時００分から午後０時００分まで |
| 出欠状況 | 現在委員数１２名　　出席委員８名　　欠席委員４名 |
| 出席委員 | 流通経済大学　　　　　　　　　経済学部教授　　　　　　池村　恵一文教大学　　　　　　　　　　　経営学部教授　　　　　　鈴木　誠株式会社しまや出版　　　　　　代表取締役　　　　　　　小早川　真樹足立荒川職業協会　　　　　　　会長　　　　　　　　　　鈴木　又右衞門足立区工業会連合会　　　　　　会長　　　　　　　　　　瀬田　章弘ＴＯＫＹＯ町工場ＨＵＢ　　　　代表・プロデューサー　　古川　拓足立区商店街振興組合連合会　　理事長　　　　　　　　　鈴木　健嗣一般社団法人西新井青色申告会　相談役　　　　　　　　　大和　猛 |
| 区側出席者 | （管理職）産業経済部長　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　石鍋　敏夫産業政策課長（産業振興課長兼務）　　　　　　　　　　　吉尾　文彦企業経営支援課長　　　　　　　　　　　　　　　　　　　鈴木　孝昌勤労福祉サービスセンター事務局長　　　　　　　　　　　渡邉　昌道観光交流協会事務局長　　　　　　　　　　　　　　　　　坂田　光穂（一般職員）産業政策課　産業経済協創担当　茂木、管理係　小林・小堀 |
| 会議次第 | 別紙のとおり |
| 会議に付した議題 | １　報告事項（１）経済活性化会議（部会・全体会）における委員の主な意見と計画への反映の検討内容について２　審議事項（１）「足立区地域経済活性化基本計画」改定版について |

（会議録）

**吉尾産業政策課長**

産業政策課長の吉尾でございます。本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、注意事項等をお話しさせていただきます。まず1点目が会議の情報公開に関するお知らせです。委員の皆様の名簿、会議録、会議資料は本庁舎2階の区政情報課にて公開させていただくとともに、会議録作成のため本日の会議を録音させていただきますので、ご了承願います。次に2点目ですが、本日は産業経済部の管理職ならびに経済活性化会議事務局職員が同席させていただいておりますので、こちらもご承知おきください。そして3点目ですが、本日の会議はオンライン会議となり、所用等により中座される場合は、ご退席にあたり特にご挨拶等は不要です。本日の会議内容は後日会議録などでお知らせさせていただきますので、仮に中座される場合は、そちらをご覧ください。また、音声は原則ミュート状態とし、ご発言時は挙手又はミュートを解除してお声がけいただき、会長から指名がありましたらご発言ください。

現在のところの出席委員数は委員定数12名中8名ですので、本日の会議は成立しております。なお、先日、新しく経済活性化会議の委員に就任された商店街振興組合連合会の鈴木理事長が、今回の会議から参加されますのでご承知おきください。

では、本日の会議用にお配りしている資料を確認させていただきます。まず資料1の委員名簿、つぎに資料2の前回までの皆様のご発言と計画への反映内容を記載したもの、そして今回冊子にした地域経済活性化基本計画が資料3になります。以上、お手元に揃っていないものがありましたらお声掛けいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

では、この後の議事進行を池村会長の方にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

**池村会長**

本日も議事進行を担当させていただきます会長の池村と申します。本日は事務局より報告事項が一件、審議事項が一件あります。それではまず、報告事項について吉尾課長よりご説明をお願いします。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。報告事項の資料は経済活性化会議における委員の主な意見と計画への反映の検討状況を記載しています。まず、柱1と2は前回までの議論で中心的な柱というところで位置づけしております。柱１は意欲的な事業者を応援することで、突き抜ける事業者を生み出し、柱２では全体の事業者を底上げして支援するようなイメージです。柱１に関してはものづくりの事業者と製品を使う現場が近い足立区の特性を活かした両者の意見交換等のクリエイティブな関係者の繋がりを意識して書き込むべきとのご意見を頂きましたので、冊子の26、28、29ページに反映させました。柱2に関しては、柱1と同様に足立区の特徴を柱立てや施策の方向性の中に打ち出すべき等のご意見を頂きましたので、26、27、29、32ページで特色を出してまいります。

次に、ＤＸを推進する前に基本的なデジタル化の推進やＩＴ活用のメリットの啓発を強化すべきというご意見をいただいています。今年度より33、34ページに記載している「事業者なんでも相談員」、「ウェブ活用アドバイザー」等の伴走支援を導入していますが、これらを後押ししていくべきとのご意見と考えています。

柱3は企業の成長を促す人材確保の支援の柱です。ものづくりの現場と近隣の工業高校を繋いでの就職のきっかけになるような働きかけや、女性や高齢者など多様な人材の就業意欲を応援し就業環境を整えるべきとのご意見をいただいています。区としては既に高校生への働きかけや、多様な人材の就業について全庁で連携して対応しており、36、38ページにその旨を記載をしています。

そして全体を通じて、物価高についても計画に反映させてはどうかというご意見をいただきましたので、5、11ページに反映させました。その他、SDGｓに関しても盛り込むべきとのご意見もいただきましたので、現状と課題にSDGｓの項目を新設した他、柱立てにＳＤＧｓの表現を加筆しました。

後は25ページの柱立ての課題の表現等を修正し、30ページ以降の各事業の解説においては現行の計画策定時以降に開始した事業はオレンジ、令和５年度以降の新規事業は緑で色分けして「新規マーク」を追記しました。

以上が前回までの議論を踏まえた現在までの進捗状況ということでご報告になります。

私からは以上になります。

**池村会長**

ご説明ありがとうございました。今の報告事項について、これまで委員の皆様からいただいたご意見に基づいて、現在の案に反映させたというところが、報告事項でございます。また、後の審議事項でこの計画全体についてご指摘があるとは思いますが、ひとまず、この報告事項の内容について委員の皆様からご意見いただければと思います。いかがでしょうか。

計画全体についてはまた後の審議事項のところでご意見いただけるかと思いますが、皆様からご指摘いただいた内容の反映については、ご報告内容のとおりでよろしいでしょうか。

それではご承認いただいたということで、次に進めてまいりたいと思います。続きまして、審議事項について吉尾課長よりご説明よろしくお願いします。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。今報告しました経済活性化基本計画につきましては、事務局の方でまとめさせていただいたところです。審議事項として、先ほどの報告事項のところを補足させていただきますと、49ページから指標の一覧をつけさせていただいております。この施策のページの中にも入れておりますが、「成果指標」は様々な事業を実施した結果を示す指標で、その各成果指標に対応するものとして活動指標を設定しています。

今回は中間見直しではありますが、現行の計画策定時から社会経済状況がめまぐるしく変わっているところです。既存の指標に囚われることなく、区の施策として新たに展開しているところもありますので、指標も現状に即して大幅に刷新し、PDCAサイクルを回していきたいと思っています。

この審議事項の時間では、今申し上げました指標以外にも、初めてご確認いただきます29ページ以降の文章についてご意見いただければと思います。本日の皆様のご意見を踏まえて9月28日からパブリックコメントにかけていきたいと考えております。私からは以上でございます。

**池村会長**

ありがとうございます。それではこの審議事項について各委員の皆様からご質問やご意見等をいただきたいと思います。ご意見の際は、ミュートを解除してご発言いただければと思います。

**吉尾産業政策課長**

池村会長、今回、商店街振興組合連合会で新たに理事長になられた鈴木委員が参加されておりますので、鈴木委員よりご挨拶をお願いしたいと思います。鈴木委員、よろしくお願いいたします。

**鈴木健嗣委員**

　今回から経済活性化会議に参加させていただきます鈴木と申します。不慣れでございますが、今回から参加させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

**吉尾産業政策課長**

ご挨拶ありがとうございます。商店街振興組合連合会としては、例えば44ページの消費生活であるとかそういったところがターゲットになってくるかと思いますので、ご確認をよろしくお願いいたします。それでは、池村会長、会議を再開していただきますようお願いします。

**池村会長**

はい。それでは再開いたします。審議事項については、29ページ以降の文章と指標を特にお伺いしたいということですが、皆様からのご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私から１点だけ確認ですが、28ページ以前の部分についても指摘は可能ということでよろしいでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。もちろん可能でございます。少し資料が整うタイミングが遅かったという部分もあるかと思いますが、お目通しいただいて貴重なご意見ご指摘をいただければと思っております。

**池村会長**

すみません。形式的な部分について、まず私からお伺いします。

8ページの下の方で以前、大和委員にご説明いただいたこの8万円の定義ですが、補足等をつけるべきと感じました。定義の背景が置かれるとより図表とか状況が見やすくなると思いますが、定義が無くても一般の区民に理解できる内容なのでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。ご指摘の通り、定義が明記されてない場合ですと、やや唐突感が否めないと思いますので修正してまいります。

**池村会長**

あとは13ページですが、下の方で事業レベルのＩＴツール・システムについて、私自身が疎いものでこの辺の注釈が欲しいなっていう部分があります。例えばERP・基幹システム・グループウェアのあたりの説明があった方が丁寧なのかと思います。

**吉尾産業政策課長**

ご意見ありがとうございます。特にこのERPなどは注釈等を入れていきたいと思います。

**池村会長**

あとは25ページの書き出しの部分で、四つの視点に基づいて柱を整理したという文章ですが、この四つの視点というのはすでに前出しされていますよね。私が探したところ、2ページの足立区基本構想の目指す将来像から取ってきた視点だと思うのですが、これで間違いないですか。

**吉尾産業政策課長**

はい、間違いございません。

**池村会長**

読んでいる途中でぱっと出てきた感じもあるので、2ページの基本構想の軸として立てた視点をベースとして、さらに柱として計画を具体化していくというような記述があってもいいのではないかと思います。

**吉尾産業政策課長**

基本構想の注釈、２ページからの関連性を記載させていただきたいと思います。

**池村会長**

そうですね。大きな構想の重要な柱と視点であり、そこに基づいて具体化していますという説明があった方がわかりやすいのかなと思いました。あと、ご説明にもあったとおり、太枠のところが区として強調していきたいところ、注力していきたいというところですよね。これが少しもったいないなと思っています。同じ黒の太枠で強調されているというのはわかるんですが、もう少し何か区として重点的に取り組みたい気持ちが伝わる表現があるのではないかと感じました。せっかく文言の中に強調していきたいとか中心に取り組んでいきたい部分がしっかり書かれていて、この図表でもそれを表に出していきたいのであれば、色か形なのかは区の方でお考えいただければと思いますけれども、もう少しわかりやすい表示の仕方にしたら良いと思います。

**吉尾産業政策課長**

ありがとうございます。2ページの下のところに「計画改定に係る新たな事業の位置付け」を記載させていただいていて、池村会長がおっしゃるように、ここのところから25ページへという形になっています。何ができるのかというところを検討していきたいと思います。

また、計画の冊子はいろんな色を使っていて、色がうるさいというご意見も寄せられているところですので、それも踏まえて表示の仕方を検討いたします。

**池村会長**

それでよろしいかと思います。あと気になったのは、29ページの成果指標はおそらく同じ形で表を49ページ以降に再度掲載してますよね。重複しているかなと思うのですけれども。どうしてもここで示したい指標であるということなのでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

そうですね。成果指標は代表的な指標ですので、施策のページでもお示しした方がわかりやすいと認識しておりますので、現行の計画も同様の作りで表示しております。

**池村会長**

その方が説明としてはいいということですね。他に気になった点として、「新規マーク」が二つあるのですが、オレンジ色は現行計画策定後の２０１８年度以降の新規事業という認識でよろしいでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

そのとおりです。現行計画策定後から今回の改定のところまでに始まったものがオレンジ色で、令和５年度以降の事業は緑色で表現しています。

**池村会長**

わかりました。最初の2ページの方で計画のスケジュール表も出ていますし、これで大丈夫かと思います。私からは形式的な部分ですが、ご指摘させていただきました。ご回答ありがとうございました。この他、委員の皆様からはいかがでしょうか。

**瀬田委員**

足立区工業会連合会の瀬田です。まず、「突き抜け」と「底上げ」というのはすごくわかりやすい表現だと感じました。その突き抜けを表している28ページの施策の方向性で、異業種団体との協業や販路拡大については活動指標に組み込めている思うのですが、先進技術の導入や将来を見据えた持続可能な事業展開については活動指標の中にどのように含まれていくのでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。施策の方向性で掲げている分野で個別の活動指標に落とし込めていないものは、今後区として施策に盛り込んでいくべきと考えております。つまり、「まだ位置づけられていないけれども、今後位置づけていきたい」というトーンで施策の方向性を記載しています。

**瀬田委員**

事業の継続性を考慮しつつも、活動指標に新たな指標が今後生まれてくるということがありうるということでよろしいですね。経営者の立場として少しお話をさせていただきたいのは、柱1の成果指標は良いのですが、これに付随する活動指標を実施したときに成果指標に結び付くかと問われると疑問を感じます。具体的には49、50ページで展示会や商談会の回数等を指標にしていますが、成熟化社会でもの余りというのが潮流です。ものが売れないのは、魅力的な商品がないとか、皆さんが欲しいと思うものが作れないから売れないわけであり、そのような状況下で展示会等の出店回数や売上げ等を指標で求めていくのは、リアリティーを感じられない部分もあります。

もちろん、出店機会を得られること自体は大変ありがたいですけども、バイヤー等の販路のプロフェッショナルの方からのアドバイス等が得られる機会を指標に絡められれば説得力が増すと感じました。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。ここの活動指標としては、できれば実情に即した質的な指標設定が望ましいところですが、なかなか定義付けが難しいので回数等の定量的な指標設定となっております。委員がご指摘している通り、重要性については痛感しており、バイヤーからの技術的な助言等を活用した販路拡大支援事業を実施しております。

**瀬田委員**

お答えいただき、ありがとうございます。足立区の立場としても苦しいのはわかるのですが、定量的なＫＰＩが多くて、実現するための戦術論が十分に盛り込まれていない部分もあるように感じました。

最後に一点、底上げのところで51ページ、52ページの成果指標、活動指標に記載されているマッチングクリエイターやウェブ活用アドバイザーが具体的にどういう方なのでしょうか。キャリアや実績を出せると、我々としても「そういう方がいるならちょっと相談してみようかな」という気になると思うのですが、できればそのようなこともあわせて告知していただければと思います。

**吉尾産業政策課長**

ご意見ありがとうございます。新規の訪問相談員でありますので、委員ご指摘のとおり相談しやすいと思っていただけることは非常に重要と考えます。今後もどういった形でやっているのかということをわかりやすく見える化して、周知していきたいと思います。

**池村会長**

瀬田委員、貴重なご指摘いただきありがとうございました。50ページの指標の改善を今後お願いできればというご意見で、あとは相談員にどのような方がいらっしゃるのかということを資料を通じて把握できるようにすると良いかと思います。例えば、脚注でそういった情報を提供することは可能でしょうか。

**吉尾産業政策課長**

そうですね。少し余白がございますので、相談員をどんな方がやっているのか等についても注釈を入れるのは可能ですが、表現については検討させていただきたいと思います。

**池村会長**

実績等を紹介することで、この計画を読まれる方が情報も取得できるような注釈もあってもいいのかと思いました。以上でございます。

**小早川委員**

しまや出版の小早川でございます。回を重ねるごとに大変わかりやすくなってきておりまして、嬉しく感じております。そもそも論の質問を改めてしたいのですけれど、この足立区地域経済活性化基本計画というのは誰に対して、どこで閲覧できるようなものなのか今一度確認させてください。

**吉尾産業政策課長**

これは主に区内事業者に対しての計画でございます。閲覧できるのは本庁舎で言えば区政情報課です。この計画だけではなく全ての計画や、区の有償販売物が閲覧できるようになっており、ホームページでも閲覧いただけます。

**小早川委員**

ありがとうございます。事業者等が見られるということで、注釈に関しての確認をしたいのですが、各ページに注釈が振られていて、例えば29、30ページを見ますと、「バイヤー」という形で注釈が入れられています。一般の方には馴染みが無いのであえて書いていると思うのですが、そうなると結構注釈の必要な文言が出てくるのではないかと思いまして、何を基準にこの注釈が必要なのかというのは議論していただく必要があると感じています。例えば29ページの上の方に「リーディングカンパニー」という言葉があり、ここは「先進技術の導入等を試みる意欲的な区内事業者（リーディングカンパニー）」という形で「これイコールこれ」なんだなというのがわかるのですが、文脈上で判断できないキーワードが突然出てきたときに、注釈を出すのか出さないのかという基準が必要なのかなというふうに思いました。

あわせてもう一点いいでしょうか。私は足立ブランドに関わっているので気になったのですが、50ページに足立ブランドの認定件数が指標として記載されています。基準値、中間値、目標値ということで18社、3社、20社とあり、3社の中間値に関しては、「コロナ禍により再認定未実施」ということで書いてあります。この18、3、20という数字が何なのかという説明はどこかに書いてありますでしょうか。多分、一度認定を受けたところが3年後にまた再認定をしている数を含めて18という数字が出てきているのだと思います。新規に認定されたものと再度認定されたものがあるという説明などがあるとよろしいかなと感じました。

**吉尾産業政策課長**

ご意見ありがとうございます。小早川委員がおっしゃるように足立ブランドについては確かに新規と再認定があるというところは明確に書かなければいけない点であると思いますので、こちらに記載したいと思います。そして注釈の基準については、前回の計画から踏襲している部分のほか、新規事業や実施中の事業の中で用語が難しいというようなご指摘いただいたところを中心に説明を入れているところですが、今一度わかりづらいところをチェックしてまいりたいと思います。

**池村会長**

ありがとうございます。注釈についてご意見いただきました。このほか、皆様からいかがでしょう。

**大和委員**

西新井青色申告会の大和でございます。49ページについて、6月の活性化会議の資料では成果指標と活動指標が左右逆で、活動指標が左側にあって、活動指標の結果として右側に成果指標が来て成果に繋がっていくというような書き方になっていたと思います。また、成果指標と右側の活動指標とのつながりというのが前回の資料の方が非常にわかりやすくて、繋がりが左と右でちゃんと線でつないで、個別の活動指標が特定の成果指標に繋がっているというような書き方になっていたと記憶しています。今後の計画の中における成果指標と活動指標との関連性について何かわかりやすく表現することはできないでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。ご指摘ありがとうございます。成果指標と活動指標の並びについては苦慮しているところでして、委員のご指摘の表現の方がわかりやすいと思う部分もあるのですが、例えば25ページ・26ページの計画の全体像を見せるところも大きな話から細かい話へという展開にしており、左から右の方に展開していくという構成になっていますので、成果指標と活動指標の並びについても左から右に、大きなものから小さなものへというような形にさせていただいております。

また、委員よりご指摘いただいたとおり、成果指標と活動指標の繋がりについて一対一で対応していなくてわかりづらいところがございますので、点線等が横に伸びていくような形で対応関係をわかりやすくしていきたいと思います。

**大和委員**

ご対応ありがとうございます。せっかく成果指標を得るために個別の活動をこういう形でやっていくのだという姿勢がわかりやすく表示していただければと思いますので、よろしくお願いします。

**池村会長**

ありがとうございました。私からも49ページの最初の上の方の文章のところで、指標の意義であるとか設定のストーリー等について記述がもう少しあってもいいのかなと感じております。

**吉尾産業政策課長**

ありがとうございます。その点についても少し工夫させていただきたいと思います。

**池村会長**

お願いいたします。この他委員の皆様からいかがでしょうか。

**古川委員**

すみません、私からよろしいでしょうか。まずこのような立派な計画書を作られてすごく大変だったと思うんですけれども、足立区の特徴が表せていて良い資料だというふうに思いました。

その中でコメントを2点ほどお伝えしたいと思っておりまして、1つは、この活性化計画の中で産業分析というところが少し弱いかなと感じています。足立区の特徴ということを考えた場合、本当のところは、足立区はどういう産業構造になっていて、それが今ウィズコロナ、アフターコロナと社会あるいは経済が大きく転換していく中でどういうふうな特徴を足立区として出していけるのかが大事なのではないかなと思っています。一概に中小企業あるいは一概に産業活性化ということからもう少し踏み込んで、足立区がどういう形で産業を見て、それを活性化させていくかというところは、今回ではなかなか難しいのかもしれませんが、今後やはり踏み込んでいってもいいのではないかなと感じています。

2点目は、協創力ということが足立区の活性化の中で大きなテーマになっていまして、区側として何をするかということがここにはたくさん書かれていている一方、区民や民間事業者が一体この協創力というところに対して自分たちが何をするのか、区はどういうことを期待しているのかということも、やはり協創力をつくることを目指すのであれば、明確に示していくべきと感じました。

**吉尾産業政策課長**

ご意見ありがとうございます。今回、ご指摘の通り産業の分析まではなかなか難しいところはございました。6ページのところに今回の計画を作るにあたって、産業実態のアンケートを実施し、様々な業種にアンケートをとったところです。私どもが見た限りでは、今回のアンケートは区内の産業構造の特徴が表れにくかった面もありましたが、次回の改定に際して委員のご意見を参考にしていきたいと思っています。

そして役割のイメージについてですが、区民目線では「消費者」として柱5に記載し、事業者目線では委員のご意見も踏まえて、柱1で「異業種との協業等を通じて競争力を高めていくべき」等と方向性を指し示しているところです。

**池村会長**

ありがとうございました。続きましていかがでしょうか。

**鈴木誠委員**

文教大学の鈴木です。私からは大きな視点で2点あります。まず、この資料を拝見して、大変細かくできているなと思ったのですが、区と事業者とそして区民・消費者の三者がいることが3ページに記載されていますが、この資料は主として事業者といわゆる区、行政がどういうふうにして区内の経済力を高めていくかというところに重点を置いていて、どちらかというと区民・消費者の役割のイメージについての言及というか施策がほとんどないのではないかというのが1つ目の私の大きな印象でした。ですので、例えば45ページの「インターネットの普及に伴い…」と書いてあるのですが、いわゆるICTに関しての教育をというところは犯罪被害に遭った場合どうするかということしか書いていないので、取り残された人、使えなかった70歳以上の人たちをどうやって取り込んでいくかということについて、触れられた方がいいのではないかなというふうに思います。

2つ目が、区の役割として事業者に対してどこまでやるのかという点です。いわゆる私企業つまり民間企業ですから儲けは全部自分たちのもの、自分たちでできないことを例えば区に「やってほしい」と言うことで区がやってくれる、区はいわゆるコンサルティング事業を私企業に対して区民のお金を使ってやることになる。全て事業者の儲けになるわけですから、そうなると区民から見て、果たしてそれが適切なのかどうか気になりますし、どこまでサービスをしてくれるのかと事業者から見れば思います。売り上げが伸びないのであれば施策をしてもらってもあまり効果がないのではないかと不満は出る一方で、区民からしてみるとなぜ私企業が儲けるのに区がここまで手厚くしなければいけないのかというような不満も出る可能性があるかなと思います。それが二つ目の大きな視点です。

細かい視点で言いますと、まず6ページのところでアンケート調査概要が記載されていますが、ここで出てきた結果が実はちょっと使いにくいように思います。なぜ使いにくいかというと、国で行っている、例えば総務省でやっている法人企業統計や中小企業庁の統計を見ると、小規模事業者あるいは中規模事業者の規模の定義が違います。5ページの下に小規模事業者は「『商工会および商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律』では…」と書いてあるここでも「5人以下」と書いてあるのですが、足立区の場合は4人以下ということで小規模事業者を定義されています。ですから、他の資料を使ってこういう傾向が見られるということと、足立区で見られる結果をすり合わせたときに足立区の傾向と他の地域の傾向の比較が少し難しくなっている部分があるため、このアンケート結果は読みにくいのではないかと思い、出来れば合わせていただいた方がいいのではないかという気がいたしました。

次に、8ページですが、先程ご指摘がありました、図表９で定義している収入を伴う仕事がなぜ8万円なのかについてです。これは私が以前質問したことなので覚えているのですが、正確に言うと8万8000円です。8万8000円の根拠というのは、年間106万円を超えると社会保険料を支払いが生じるラインがあるのでそれを上回らないように努力をするということで8万8000円なのですが、きり良く8万円としたというような回答でした。8万8000円は9万円に近いのですが、8万円でないと意味がないということなのでしょうか。一応その辺はお含みいただければと思います。

次が14ページの図表の24です。図表24の「その他」というところを見ますと、「農業/金融業・保険業」とあります。農業と金融業・保険業をやっているのは団体として考えられるのは農協しかないんですけれども、これは一体どういうところなのかなというのは私的には疑問を持ちました。もし農業だけなのなら「農業」にすべきで、金融業・保険業であれば「金融業・保険業」にすべきかと思いました。

次に、15ページの冒頭に「インターネット」という言葉が出てくるのですが、ＩＣＴやＩｏＴ等を想定した言葉じゃないかと思います。ただし、インターネットはあくまでもインフラですから、インフラとインフラに乗っているサービスを明確に区別して言葉を使った方がいいのではないかと思います。この資料の随所にデジタル化とかＩｏＴとかあるいはＩＣＴとか、場所によっていろんな使い分けがされているのですが、読み手に誤解が生じないようにある程度統一された方がいいのではないかと思いました。

次に、23ページの日本の観光需要というところですが、日本政策投資銀行および日本交通公社が世界12か国で行った意識調査によればということで図表39がありますが、これはいつ時点のデータなのかというのが入っていなくてわかりにくいと思いました。例えば、下の図表40を見ると「出典：観光庁令和4年度観光白書」と書いてあるように、直近の情報を引用しているということを示せると説得力にもつながりますので、データがいつ時点かというのは明確に入れていただきたいと思います。

次に、今のページの下から2つ目の箱で、「デジタル機器を使いこなしている事業者および消費者は少ない」と言い切っていますが、本当にそういう消費者は少ないのだろうかということです。この「使いこなしている消費者は少ない」というのは70歳以上の人は少ないのですが、ほとんどの人は使っているんですよね。例えば19ページの図の35を見るとキャッシュレス決済の利用をされているわけです。ですから、この図を見ると本当にそうですか、言い切っていいですかという、データと表記が合っていないところが見られるように思いました。26ページ柱の右側にある「拡大が見込まれるキャッシュレス決済、インターネットを介した消費に対する事業者・消費者双方の適応を後押しします」というのも同じことで、先ほどの図表35を見てわかるように、消費者は適応しているので、後押しするのであれば「70歳以上の人を後押しする」ということを入れる方が正確であると思います。

次に、柱6の観光施策については、大手宿泊業者が比較的安い金額で泊まることができるという簡易宿泊施設を全国各地に作り始めているのですが、区として関心があれば参考事例として取り上げられるといいのではないかなと思います。

次に、31ページになりますが、「新規（本計画改定後）」というところですけど、「需要を予測するＡＩシステムのテスト導入を実施」というような表現が結構唐突に出てきています。これは一体、誰がやって誰にフィードバックするのかというのが分かりづらいと感じました。「突き抜け」だということだから新しいことをやろうということは非常に望ましいことだと思いますが、AIという言葉の定義に関して少々説明が足りないかなと感じます。AIについては、昔ＩＴという言葉が出始めた時になんでもかんでもＩＴがついていれば、皆が「そうなのか、ITなのか」ということでありがたがったのですけど、今も全く同じで。AIとついていると、何か人間が考えるより素晴らしいことだというふうに思われるわけです。しかしながら、AIは人工知能ということですから、人工知能はどういったようなことで利用されるかということが区民の方によくわかるようにご説明いただいた方がいいのではないかと思いました。

次に、33ページの小規模事業者経営改善補助金で、様々な事業者をマッチングしたいということで、中小企業相談員による云々と書いてあるのですが、中小企業診断士の方ももちろん専門家ですからいろんな地域の事業者に関する情報もお持ちだと思います。ただ、事業主の得意、不得意、あるいは悩みなどについてより多くの情報を持っているのは、地域の金融機関だと考えています。ですから、例えば信金・信組などの金融機関に、事業にご協力いただくというのも考えられてはいかがでしょうか。

次に、34ページのデジタル人材育成事業というところでは、今後の方針で増やしていこうということが述べられているのですが、果たしてこのような画一的な導入で済むのかと疑問に思っています。なぜ疑問に思ったかというと、15ページを見ていただくと、図表の26ではいろいろ複数回答可ということになっているのですが、事業者によって値が違います。まちまちだということは、本当に簡単なところから、あるいはもっと経営に関わるところに問題があるとか、事業者によって違うので、そのあたりをもう少し細かく丁寧にご説明いただいた方が事業者の方がこの計画を見て、「私どものことを考えてくれているな」とよく理解いただけるのではないかと思いました。

次に、36ページの表中の「区内事業者を選び、働きたいと思う求職者が少ない状況です」ということです。なぜ求職者が少ないのかというところが、私はちょっと疑問に思いまして、要因について教えていただけますでしょうか。

次に、37ページのデジタル人材育成事業のところでは、区内の大学と協力関係を持って大学などで区内の事業者あるいは区民の方々に安価な講習料でデジタル化、デジタルに関しての知識が得られるような機会を作られてはどうだろうかと思います。

最後に、5ページの起業に関する注釈ですが、「起業」は「Starting a Business」というふうにここでは言われています。確かに文章で書くときには「Starting a Business」で構わないですけれども、一般に、この資料でもそうですが「スタートアップ」と書いてあります。39ページの区の方針の2番目のところに書いてあるのですが、「スタートアップ期には…」と書いてあります。ここと符合するような形で「起業」は「スタートアップ」、と一般に使われていますから、スタートアップでいいのではないかと思います。むしろ「Starting a Business」というと、かなりフォーマルな言い方なのであまり目にしたことがないので、これはどうだろうかと思いました。以上です。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。多岐にわたりご指摘いただきまして誠にありがとうございます。

冒頭の大きな視点の1つ目については、確かに事業者、区の視点というところが強い計画になっているところでございます。

先ほど古川委員からいただいた協創のご意見とも通じるご指摘かと思います。次回の計画の改定での反映という形になるかもしれませんが、しっかりと内容を受けとめて進めていきたいと思います。そして、区の役割をどこまで介在させるかという2つ目に関しては、ご質問に対する回答になるかどうかわかりませんけれども、今まで足立区としてはどちらかというと、意欲的な事業者を支援していこうというスタンスであったのですが、アンケートをとって、やはり「底上げ」をする必要があるということを認識し、今回計画に書かせていただいたところでございます。とは言いながら、どこまでやっていくのかというのは、委員ご指摘のとおり本当に大きなところだと思いますので、今年度から始めた「なんでも相談員」、「Web活用アドバイザー」の成果を見ながら検討していきたいと思っております。

なお、細かな点についても多岐に渡りご意見いただきましたので、後ほど対応を検討してまいりたいと思います。ご意見どうもありがとうございました。

**池村会長**

ありがとうございました。続きまして、いかがでしょうか。まだご発言、ご指摘いただいていない委員の方もいらっしゃるかと思いますが。商連の鈴木委員、いかがでしょうか。ご指摘等をいただければと思います。

**鈴木健嗣委員**

今日初めて参加させて頂いたこともあり、具体的な意見は今のところ持ち合わせておりませんが、大変、身になるお話を聞かせていただきました。今後、さらに理解を深めてまいりたいと思います。

**池村会長**

ありがとうございます。鈴木又右衞門委員は、ご指摘等特にございませんか。

**鈴木又右衞門委員**

全体的によく皆さんのご意見を入れてまとめていただいていると思います。最後はやはり経済活性化には民間の企業の力が中心になりますので、企業に対する支援メニューをどう広報していくか、使いやすくしていくかというところがポイントになると思います。例えば補助金一つをとっても、自社が使える補助金についての認識が不足しているのが実情だと感じています。そのため、例えば「こういうサービスがあるよ」ということを紹介するようなアドバイザー事業等の伴走支援を経済活性化の骨子・柱に沿ってやっていただければ、区内事業者としては大変ありがたいと思っています。

**池村会長**

ありがとうございました。出席している委員の皆様全員からご意見・ご質問等をいただいたかと思いますが、追加でご発言ありますでしょうか。事務局への確認ですが、活性化会議終了後にメール等で意見を述べることはできますでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

事務局の吉尾です。皆様の意見を反映させていただいて、パブリックコメント等に臨んでいきたいと思っております。もし、この場で言い足りなかったというようなことがあれば、本日中までにメールいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

**池村会長**

承知しました。この後パブリックコメントに付すということで、時間的にちょっと厳しい状況ですので、できれば本日中にもし何かお気づきの点がございましたらご連絡いただければということでした。他委員の皆様よろしいでしょうか。それでは本日の議題は以上になります。他に事務局から何かありますでしょうか。

**吉尾産業政策課長**

特段、事務局の方から補足等はございません。

**池村会長**

では、これにて閉会にさせていただければと思います。貴重なご意見、ご指摘いただきまして誠にありがとうございます。本日の会議はこれで終了いたします。それでは事務局に進行をお返しいたします。

**吉尾産業政策課長**

どうもありがとうございました。本日の会議はこれで終了となります。いただいたご意見につきましては計画の策定において参考にさせていただきたいと思います。今後は9月28日から予定しております1か月間のパブリックコメントを経て修正したものを次回の活性化会議にてご審議いただきたいと思います。なお、本日の委員報酬につきましては口座振込になっております。本日から3週間前後に振り込まれる予定でございます。もし請求書兼口座振替依頼書のご返送がお済みでなければご返送をお願いしたいと思います。それではこれをもちまして、令和4年度第2回足立区経済活性化会議を閉会いたします。本日はお忙しいところ、長時間にわたり、誠にありがとうございました。

以上